

物質循環型野菜生産技術の開発

研究代表者（所属）：北宅善昭（大阪公大・研究推進機構）

メタン発酵改質消化液の余剰汚泥に含まれる栄養塩の養液栽培利用

○野間洋志¹，遠藤良輔¹，北宅善昭²，林 伯諺³，中村謙治³

所属： 1 大阪公大・農学研究科， 2 大阪公大・研究推進機構， 3 エスペックミック株式会社

キーワード：養液栽培，メタン発酵，汚泥処理，資源再生

要 旨

メタン発酵は、有機性廃棄物からメタンとしてエネルギーを、また、残渣液を液肥として回収する資源循環技術である。残渣液は、さらに硝化処理して固液分離することで養液栽培のための培養液に改質できる。ただし、これらの処理過程で、植物栄養塩である鉄やリンの一部は固形分である余剰汚泥に取り込まれ、培養液には十分に移行しない。本研究では、余剰汚泥に取り込まれた再生リンを養液栽培で有効に利用する手法について検討した。